



新・発・表

## ミルガード・ウィンドウズ社 （ビニール製 上下スライド式窓） ＜ダブル・ハング＞

ミルガード社はビニール製上下スライド式（ダブル・ハング）窓の新シリーズを開発した。現在アメリカで発売しており、日本でも近期中に発売予定だ。

上下スライド式窓の場合、上部サッシが上へ、下部サッシが下へ移動することによって家の中の通気性を高めることができる。それは、上下スライド式窓を採用することで、冷たい空気が下の方から入り込み、天井近くの暖かい空気が上の開口部から出るからである。部屋の空気層を利用した自然の風の流れを起こすことができるのだ。窓の高さが高ければ、よりよい効果が得られ、室内はいつそう快適になるだろう。

### 上下スライド式窓 5つの特徴

- 1 下のサッシの上部部分に信頼性の富むロックがついているので戸締まりも万全
- 2 ガラスのオプションは全製品と共通しており、断熱効果をさらに発揮
- 3 水はけをよくするために勾配をつけたヘッドと敷居部分
- 4 色は白とアーモンドの2色から選択可能
- 5 クリーニングが簡単にできるようにサッシが内側に倒れる

ミルガード社の上下スライド式窓＜ダブル・ハングシリーズ＞についてのお問い合わせはお近くのミルガード社指定代理店まで。

高齢者向き施設の実状

# ワシントン州の シニアハウス

高齢化社会を迎えているアメリカと日本。アメリカではこのまま高齢者が増え続けると2030年には、5人に1人（日本では、ほぼ4人に1人）が高齢者となり、2004年には100歳以上の人口が10万人を突破すると予想されている。アメリカの街では元気にハンドルを握り、一人で買い物をするお年寄りを毎日見かけるが、そんな彼らの住む住宅環境は日本とちょっと異なるようだ。

アメリカでは退職者や高齢者が安心して、ゆとりのある生活がおくれるよう、生活環境の充実が大きなテーマであり、その中でも住環境の整備には関心が高い。特に高齢者住宅では日米で大きな差があり、文化的なギャップもある。しかし、高齢者問題は両国が避けて通れない問題であり、アメリカの実状＝シニアハウスを観察する中から、将来のテーマが見えてきそうだ。



ミスーン・パートナーズ、INC.  
Mithun Partners, Inc.  
Tel: (206) 623-3344  
Fax: (206) 623-7005

1949年に創立されたミスーン・パートナーズはプランニング、建築設計、インテリアデザイン、都市計画などを総合的に行う企業で、アメリカ西海岸ならびにアジアのさまざまなプロジェクトに携わっている。50人以上の登録建築士を含む130人以上のスタッフが商業、小売、企業、住宅、シニアハウスおよび医療施設など、特定プロジェクトから大規模プロジェクトまで多数の物件を手がけており、これまでに100以上の賞を獲得している。



## シニアハウスをデザインする、 ミスーンパートナーズが 分析する高齢者住宅とは

ワシントン州は全米の中で最もシニアハウスに対する意識が高い州の一つとされ、他州からも注目を集めている。その中でも「ミスーンパートナーズ」は多くのシニアハウスを手がける建築設計と都市計画の企業で、30人と全米で最も多くのシニアハウス・スペシャリストを抱えている。今回は同社の取締役、レスリー・モルドさんにアメリカのシニアハウスについて聞いてみた。レスリーさんは20年近い経験を持つシニアハウス・エキスパートで全米のほか、日本住宅・都市整備公団の主催するシニアハウスセミナーでも講演を行っている。